

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名: <H24新規> 広誓院カヤの木樹勢回復支援事業
基本政策: 個性と文化を育む都市づくり
政策: 文化づくりの推進
施策: 歴史・伝統文化の振興
事業期間: 単年度のみ
所属部局: 教育委員会
所属課室: 文化財課
所属担当: 文化財
課長名: 伊東 仁
担当名: 沢登徳美
予算科目: 01 一般 10 04 05 020 16
事業区分: 市の制度による義務的事業
法令根拠: 南アルプス市文化財保護条例

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動: 24年度活動実績: 文化財所有者の行う剪定工事が及び土壌改良等に係る費用の補助金交付。総額の半分を補助
25年度活動予定:
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等: 市天然記念物 広誓院のカヤの木
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか): 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた天然記念物を次代へ引き継ぐことができる
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか): 地域の歴史や自然を守る心の醸成

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
名称: 単位
ア: 剪定作業回数 百
イ: 土壌改良箇所 m
ウ: 支柱 本
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
名称: 単位
ア: 市指定天然記念物 本
イ:
ウ:
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
名称: 単位
ア: 合併後カヤの木が樹勢を保った年数 年
イ:
ウ:
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
名称: 単位
ア: 文化財伝統芸能の保護や継承の市民の満足度 %
イ:

Table with 9 columns: 年間トータルコスト, 事業費, 財源内訳, 国庫支出金, 県支出金, 地芳債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), (A)+(B), 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標. Rows include 23年度(決算・実績), 24年度(決算見込・実績), 25年度(予算・目標), 26年度(次年度計画・目標), 27年度(計画・目標), 28年度(計画・目標), 最終年度(トータルコスト・目標).

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか? 指定文化財の管理者より平成23年1月に相談を受け、管理者と市で協議しながら平成24年度に補助事業を実施することになった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は? 自然破壊や異常気象等の影響により天然記念物は深刻化している
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか? 地域の象徴として守り伝えられてきた指定文化財を次世代へ引き継いでいくために支援、協力をしてほしいと所有者、地元住民からの要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は? [] 取り組みしている =>【内容↓】 [x] 取り組みしていない =>【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由) 通常の管理は行っている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容

事務事業名	《H24新規》広誓院カヤの木樹勢回復支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	------------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 伝統文化の振興として結びついている
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 行政が指定した以上支援しなければならない 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 修復事業を実施しないと文化財を消滅させてしまう
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 昔から守られきた文化財を後生に残すことができる
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 カヤの木が消滅してしまう <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 事業が実施できれば終了となる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 樹木医の診断のもと事業を実施
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所有者からの補助金交付、事業実績報告書の提出をうけ補助金交付決定書を交付する、削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の共有財産であり公平である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老朽化が著しいカヤの木を維持保護していくためには地域の協力が必要となる。また今後の腐朽状況については修復事業の計画を考えていかなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 将来にわたり計画的な修復事業を検討する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 地元住民、所有者と連携をとりながらカヤの状況を把握していく	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					